

鷹の台駅前広場整備事業説明会 主な質問と回答

項目	質問	回答(要旨)
駅前広場整備の交通結節機能について	停車スペース等に上屋を設置できないか。	上屋の設置については、市も必要性は認識している。上屋の設置には基準があるため、今後検討していく。
	道路本線を以前のようにクランクにすることで、車両の速度を落とせるのではないか。	クランクにすると見通しが悪くなる。速度抑制対策については、カラー舗装による注意喚起と車道本線の幅員減少を計画している。
	「公共交通のためのスペース」とは何か。	公共交通のためのスペースとは、将来的に新たな公共交通の車両が停車する可能性を残すため、スペースとして確保しておくものである。
	タクシー乗降スペース等と一般車両の兼用はできないのか。	タクシー乗降スペースは交通規制の対象となるので、一般車両は停められない。
	配送トラック等はロータリーに曲がって進入することができるのか。	当該路線は交通規制(重量3tまで、車幅2mまで)があり、該当する車両の軌跡を描き、曲がれることを検証済みである。
	障がい者用車両を駅改札前に止められるようにできないか。	駅前に停車車両があると、駅利用者と追い越し車両にとって見通しが悪くなり、危険であることから、駅前に停車スペースを設けることは考えていない。
	停車台数の見込みをとらえているか。	一般車両について現地調査を行い、晴天時は1時間当たり最大20台の停車を確認しており、雨天時は50台の停車を見込んでいる。 タクシーの停車見込台数は、タクシー会社にヒアリングを行ったところ1日当たり5~6台と聞いている。
	直線案が認められない理由を教えてください。	直線案については、歩道の有効幅員が確保できないことや、停車スペースとして3台しか確保できないなどの理由により採用を考えていない。
駅前広場整備の都市の広場機能について	緑をもっと残すことはできないか。	今回の駅前広場の整備面積は約1,450平方メートルである。駅前広場計画指針によると総面積の半分を歩行空間や緑地といった環境空間にすることになっており、基準を満たしたものとなっているが、スペースに余裕がある箇所については、可能な範囲で緑の確保に努めていきたい。
	サークルベンチのまわりにも緑を増やせないか。	サークルベンチ付近には銀行のATMがあり、利用者が多い現状であるため、歩行者の動線を考慮する必要があるが、さらなる緑の設置については検討していきたい。

項目	質問	回答(要旨)
市民意見について	ロータリー整備の声は、いつ・誰から・どのように寄せられているのか。	都市計画マスタープランを改定する前段において、市民アンケートを実施した際に、駅前ロータリーの要望が多く、自由意見でも「鷹の台駅前が狭くて車一台停めることができない。早く駅前ロータリーを整備してほしい。」という意見をいただいている。 調査実施日 平成27年8月22日～9月24日 アンケート対象者 2,000人送付(18歳以上・地区毎の人口割合に応じて、無作為抽出)
安全対策(改札前)について	駅改札前で今までどのような事故があったか。	警察に確認したところ、過去3年間に大きな事故はないが、小さな事故(自転車と歩行者の接触)はあったと聞いている。
	整備後、改札前に車が止められなくなるということを周知しないのか。	掲示板等により、周知することを検討している。
	一方通行の解除はできないのか。	一方通行が解除されれば駅前の交通量は減るが、反対に北側の交通量は増え、地域の環境が変わることとなる。そのため、警察からは、地域全体の合意が必要であると聞いている。
整備費について	整備費はいくらか。	現時点では約8千万円を見込んでいる。